ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度　主要管路耐震化事業　千年地区地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名　主要管路耐震化事業

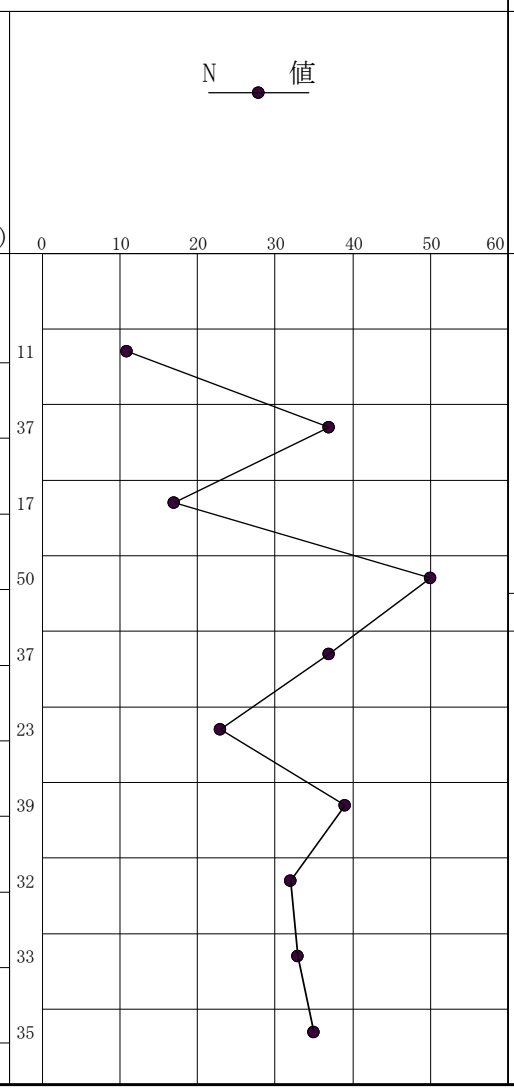
シートNo

ボーリング名	Ｂｒ　Ｎｏ．１	調査位置	弘前市大字千年地内							北緯	40°　34’　00.1″
発注機関	弘前市上下水道部			調査期間	平成 28年 11月 26日 ～ 28年 11月 29日					東経	140°　28’　50.7″
調査業者名	株式会社　青林建設コンサルタント 電話（０１７２－３６－６１７３）	主任技師	早川　林蔵	現場代理人	宮崎　晋司	コア鑑定者	下山　豊臣			ボーリング責任者	下山　豊臣
孔口標高	GH= 76.90m	角度	180° 上　90° 下 0°　0°	方向	北 0° 270° 西　90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直　水平0° 90°　0°	使用機種		試錐機	東亜利根ＴＳ－１００	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	10.45m									エンジン	ヤンマー　ＴＦ９０	ポンプ	東亜利根ＮＰ－４０

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	76.60	0.30	0.30		有機質シルト	暗褐			低含水、粘性弱い 草根・火山灰を混入	
1 2 3 4	72.30	4.30	4.60		砂礫	暗褐～黄褐	中位の～密な		φ20～40mmの亜角～亜円礫主体 含水中位～やや低い 0.50、0.70、1.90m付近φX=100mm前後の亜角礫を点在 0.80～1.10m間、粘土挟在 全体に不均一 部分的に若干細粒分を混入	11/28 4.00
5 6 7 8 9 10	66.45	5.85	10.45		礫混じり砂	暗灰	中位の～密な		細中砂を主体 含水中位 φ2～5mmの亜角～亜円礫を混入 φmax=10mm前後の角礫点在 全体に不均一 全体に火山灰質 軽石粒を混入 若干細粒分を混入	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	4	4	3	11／30	11
1.45 2.15	12	13	12	37／30	37
2.45 3.15	8	5	4	17／30	17
3.45 4.15	15	16	19	50／30	50
4.45 5.15	9	11	17	37／30	37
5.45 6.15	6	7	10	23／30	23
6.45 7.15	13	13	13	39／30	39
7.45 8.15	12	9	11	32／30	32
8.45 9.15	9	12	12	33／30	33
9.45 10.15	11	10	14	35／30	35
10.45					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.50	現場透水試験
5.00	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
5.00 5.50	P1-1	㊀	粒度、湿潤密度	11／26 11／28 11／29

ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度　主要管路耐震化事業　千年地区地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名　主要管路耐震化事業

シートNo

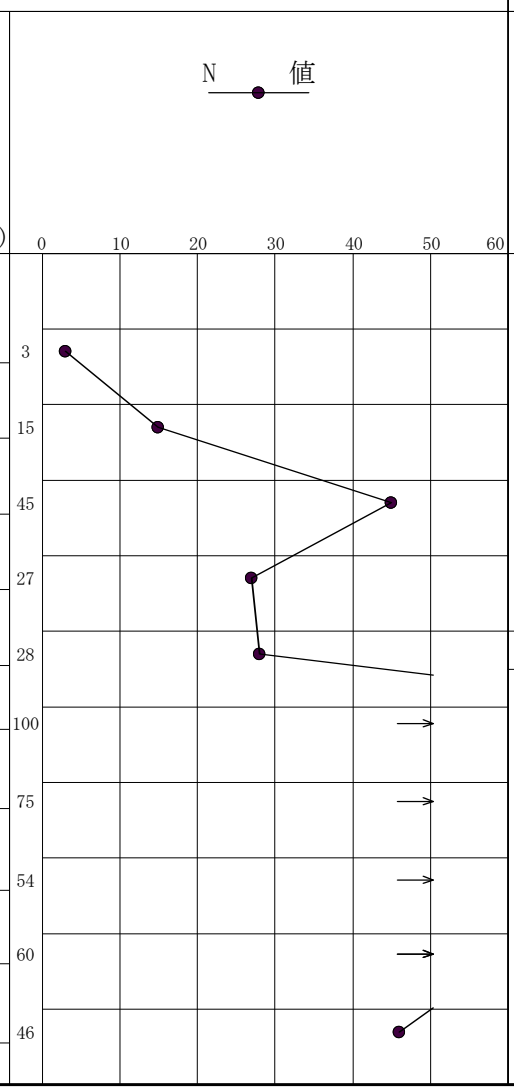
ボーリング名	Ｂｒ　Ｎｏ．２	調査位置	弘前市大字千年地内							北緯	40°　34’　01.0″
発注機関	弘前市上下水道部			調査期間	平成 28年 11月 21日 ～ 28年 11月 25日					東経	140°　28’　52.5″
調査業者名	株式会社　青林建設コンサルタント 電話（０１７２－３６－６１７３）	主任技師	早川　林蔵	現場代理人	宮崎　晋司	コア鑑定者	下山　豊臣			ボーリング責任者	下山　豊臣
孔口標高	GH= 76.33m	角度	180°上 90° 下 0°　0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°　0°	使用機種		試錐機	東亜利根ＴＳ－１００	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	10.45m									エンジン	ヤンマー　ＴＦ９０	ポンプ	東亜利根ＮＰ－４０

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	76.03	0.30	0.30		シルト	暗褐			低含水、粘性弱い
1	74.73	1.30	1.60		盛土（火山灰質シルト）	褐灰		軟らかい	含水中位、粘性強い 有機物を混入
	74.43	0.30	1.90		砂混じり粘土	暗褐			含水中位、粘性強い、有機質
2 3 4 5	70.63	3.80	5.70		玉石混じり砂礫	暗褐	中位の～密な		φ10～30㎜の亜円～亜角礫を主体 マトリクスは細中砂 φmax=50㎜前後の亜角礫を点在 3.70～4.00m間、φ300㎜の玉石を点在 全体に不均一 若干、細粒分を混入 下部は礫分の混入が少ない
6 7 8 9 10	65.88	4.75	10.45		礫混じり砂	暗灰	密な～非常に密な		細中砂主体 含水中位 φ2～5㎜の亜角～亜円礫を混入 全体に非常に締まっている 軽石粒を混入 9.50m付近、φ10～30㎜の軽石を多く混入

孔内水位(m)／測定月日：11/21 4.15

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45～2.15	4	5	6	15／30	15
2.45～3.15	13	23	9	45／30	45
3.45～4.15	11	9	7	27／30	27
4.45～5.15	6	10	12	28／30	28
5.45～6.15	25	25／5		50／15	100
6.30～7.15	20	30		50／20	75
7.35～8.15	11	20	19／8	50／28	54
8.43～9.15	15	21	14／5	50／25	60
9.40～10.15	11	16	19	46／30	46
10.45					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
5.00	現場透水試験
5.50	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
0.60	T2-1	①
1.50		
5.00	P2-1	㊀
5.50		

室内試験（　）：粒度、湿潤密度

掘進月日：11/21、11/22、11/23